

CAMPUS 八戸学院

vol.78

ハチガクの学びが進化しました！

令和7年度 八戸市『学生まちづくり助成金』

学生が「まちのためにできること」を考え、挑戦！

第98回選抜高等学校野球大会

八戸学院光星高等学校

硬式野球部14年ぶりベスト8



「宗教学」において理事長講話を開催 [4/9]



八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部の1年生約300名を対象に、理事長講話が実施されました。この講話は、八戸学院での学びの土台を築く全学共通科目である「宗教学」の第1回講義として例年実施されています。

理事長は、法人の歩みとともに、建学の精神「神を敬し、人を愛する」についての説明をされたほか、自らの生き方や心のあり方を整える大切さと、「真・善・美・聖・健・富」を追求する全人教育の理念を強調し、学生時代に目標を持って何かを成し遂げることの大切さを訴えました。

新入生たちは、地域社会で貢献できる人材を目指し、本学での学びに対する決意を新たにしました。



CONTENTS

- 3 「宗教学」において理事長講話を開催
- 4 ハチガクの学びが進化しました!
- 6 令和7年度 八戸市『学生まちづくり助成金』
学生が「まちのためにできること」を考え、挑戦!
- 8 第98回選抜高等学校野球大会
八戸学院光星高等学校硬式野球部
14年ぶりベスト8
- 10 八戸学院の春
- 12 八戸学院TOPICS
- 16 ステラが行く
- 17 ステラ・フォーカス
- 18 八戸学院ひばり野西高等学校 開校に向けて

光星高 交通安全講話会とSNSスマホ安全講話会を開催 [4/30]

全校生徒を対象に交通安全講話会及びSNSに係る講話会が開催されました。令和8年4月1日から道路交通法が改正され、自転車にも青切符が適用されることから、ヘルメットの着用や夜間のライトの点灯の徹底、自転車(軽車両)の右側通行やイヤホンを使用しながらの運転禁止など、八戸警察署交通課交通安全対策係の担当者から基本的なルールや順守すべき新しい内容について講話していただきました。

また、SNS講話会では、インターネットによる拡散から発生する犯罪について、著作権の侵害や恐喝罪、傷害罪などに発展したトラブルの実例が挙げられました。

生徒の身近なところに関わる内容の講話会であったことから、新しい制度を知り、自分自身の行動を見直す機会となりました。



CAMPUS 八戸学院

vol.78



表紙「避難訓練」

八戸学院幼稚園では毎月避難訓練を実施しており、5月は火災想定の実行を行いました。火災の発生とともに園児は防災頭巾を被り待機、そのあと教職員の誘導で「お・は・し・も」のお約束を守り避難します。煙を吸い込まないように口に手を当て、上手に避難ができました。

建学の精神 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄附行為 第3条)

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学むつ下北キャンパス
TEL 0175-33-4190
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
八戸学院健康・スポーツ科学研究所
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校 通信制課程
TEL 0178-47-5116
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>



ハチガクの学び が進化しました！

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部の改組再編が行われ、令和8年4月から新たな学びがスタートしました。

八戸学院大学短期大学部



八戸学院大学

介護福祉学科



個々に応じた学習で国家試験受験をサポート

国家試験合格に向け対策講座や模擬試験を実施する他、一人ひとりに寄り添った指導を展開し、個別学習でサポートします。

充実の教授陣による丁寧な指導

福祉現場のスペシャリストを講師に招き、介護業界の最先端の知識と技術を身につけます。

国際的な感覚を身につけながら学ぶ

国際化が進む介護業界を見据え、学内での相互交流を通じて国際感覚を養う機会づくりに取り組んでいます。

人間健康科学科3年次編入による介護福祉士と社会福祉士のダブルライセンス取得を支援

こども教育学科



保育のプロを育成する実習主義・現場主義

幼稚園や保育所で実際に仕事を体験し、実習カリキュラムによって実践力を身につけ、保育の現場で活躍できるプロフェッショナルを育成します。

ゼミナール活動を通じた少人数制教育

教員の専門性を活かした少人数制のゼミナール活動で学生を指導します。

3つの系列幼稚園との連携

学科の学びに通ずる保育の理念が実践されている系列幼稚園で実習し、保育理念を豊かに実現します。

じっくり学べる3年コースも選択可能

長期履修制度により、2年コースと同じカリキュラムを主に午前の時間を使って学びます。

人間健康科学部人間健康科学科



健康教育コース

教育職(保健体育、養護、保健、看護)を目指します。

NEW 小学校教諭二種免許状の取得できる教員養成課程を新設

健康心理コース

心理学について学び標準的な知識を修めたことを認定する認定心理士の資格取得を目指します。

健康管理士コース

予防医学のスペシャリストである健康管理士一般指導員の資格取得を目指します。

健康福祉コース

国家資格である社会福祉士の資格取得を目指します。

健康スポーツコース

科学的根拠に基づく運動プログラムを作成し、効果的に指導・運営するための知識と技能を学びます。

地域共創学部地域共創学科



公共政策コース

国や地方公共団体における施策や決定方法、機能、在り方について学びます。

目指せる職業 主に公務員、金融機関など

企業経営コース

地域企業との連携を通じて、実社会で活用できる知識とスキルを学びます。

目指せる職業 主に流通系・情報系の企業、会計事務所など

地域産業コース

地域独自の多彩な魅力を知り、地元の産業や観光の振興について学びます。

目指せる職業 主に観光関係、食品関係の企業など

HACHIGAKU OPEN CAMPUS 2026がスタート

令和8年の第1回オープンキャンパスが3月7日(土)に開催されました。「在学生による学科の魅力発信」をはじめ、学科紹介、体験授業、保護者向け奨学金説明会、キャンパスツアー、個別相談会、学食体験が行われました。



SNSでハチガクの最新情報発信中！



X



Instagram



Facebook

学部独立によって教育内容をより充実させ、質の高い看護人材教育を実現



病院実習・学内演習の充実で実践力を磨く

医療現場で、適切な判断に基づく高い技術を発揮できる確かな実践力を備えた看護師を育てます。

看護の精神を育む少人数制教育

経験豊富な教員による少人数教育を採用し、一人ひとりに手厚い指導で、自信を持って活躍できる看護師を育成します。

国家試験合格をしっかりとサポート

看護師・保健師の国家試験合格を目指し、対策講座や模擬試験などを早い時期から実施し、合格実現をサポートします。

令和7年4月に「むつ下北キャンパス」を開設

下北地域の保健医療活動や健康増進等に看護の実践者として貢献できる人材を育成します。

看護学部看護学科





「衣・食・遊」でつながる未来 ～若年層主体の異文化交流と住みやすいまちづくり～

多様な背景を持つ人が共に暮らしやすいまちづくりを目指し、高校生を対象に、外国人講師による異文化交流ワークショップを実施し、相互理解と尊重の意識を育みました。



韓国人留学生と学ぶキンパ作り体験(八戸北高校)



中国人留学生と学ぶ漢服の歴史・体験(八戸高校)

大学
楊ゼミ



花とウェルビーイングでつなぐ地域の未来 「学生によるフラワーソーシャルビジネスの検証と実践」

コロナ禍以降に課題となっているフラワーロスに着目し、廃棄予定の花を活用したイベントや展示、カフェを企画・運営して、花に親しむ機会を創出しました。



館鼻岸壁朝市にて、ロスフラワーのプレゼントとアンケート調査を実施



学生たちによる、フラワーロス削減に向けた取り組みの成果発表の様子

大学
川守田ゼミ



Hachildren ～つくって、あそんで、つながる、 はちのハートじかん～

預かり保育児童を対象に、造形遊具を使ったワークショップを行い、創造的な育ちを支援するとともに、保護者と地域の交流を促進する場をつくりました。



廃材を活用した世界に一つだけの弓矢づくりに挑戦中



手作りの魚釣りゲームと、感触が楽しいスライム作り

短大

渡邊ゼミ

令和7年度 八戸市『学 生まちづくり助成金』 学生が「まちのためにできること」を考え、挑戦！

まちづくりコンペデティション で活動成果を発表しました。



短大
介護福祉
学科

KAIGOきらめき隊★けっぱレ ンジャー 「認知症応援ミッション開始!!」

～一緒に笑って、動いて、認知症のこと 学んでみませんか～

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、寸劇やクイズ、体操を通じて、地域住民や子どもたちに認知症と予防への理解を広げる講座を実施しました。



認知症サポーター養成講座を通じて、地域の子どもたちへ認知症理解を広げる活動を展開



高齢者サロンでの体操・交流活動を通じて、世代を超えたつながりづくりを実現



乳製品を活用した 6次産業化製品の開発

生乳を活用した6次産業化製品の開発による酪農家の地位向上を目指し、韓国で注目を集めたカイマックの試作を行いました。



新商品開発のコンセプトとパン作り講座(講師:地域おこし協力隊 津久井氏)



おいらせイオン30周年記念でのカイマック試食会

大学
加来ゼミ

八戸学院光星高等学校

硬式野球部 14年ぶりベスト8

仲井監督・北口主将「一問一答」!

14年ぶりのベスト8になった硬式野球部 仲井監督、北口主将に今大会の振り返りと、今後に向けた意気込みを尋ねてみました。

◎ベスト8まで勝ち進んだ要因は。
【仲井監督】試合に出場している選手の活躍はもちろん、津田コーチを中心に編成しているデータ班の分析力等、チーム力の結果の結果です。

◎今年のチームの魅力を教えてください。
【仲井監督】主将の北口・中村を中心に非常にチームワークが良く、野球の技術面では、スピード感がありアグレッシブなプレーが魅力です。
【北口主将】ミスが出ても粘り強く守り、そのミスを挽回するように、相手の隙を突いたり、全力疾走を機転に走塁でプレッシャーを掛けることです。

◎実際に甲子園球場でプレーしてみた感じ。
【仲井監督】2年振りの甲子園ということで、甲子園の経験が無い選手たちだったので、良い緊張感があり澁刺とした雰囲気で大変良かった。
【北口主将】テレビで見えていた景色とは全く違い、球場がとて大きく感じました。最高の場所であり、展開によっては残酷な場所でもあることを体感しました。

第98回選抜高校野球大会を振り返って

2年振り12回目の選抜大会は、前回の出場に引き続き開幕初日の試合となりました。対戦校は秋の明治神宮大会にも出場した中国地区優勝の「崇徳高校」となり、とても厳しい初戦を迎えることとなりました。先発の北口が先制を許し、苦しい展開ではありましたが、何とか好投手を攻略し、同点のまま延長10回タイブレークに突入、打線が奮起し大量得点を叩き出し、初戦を突破することができました。

続く2回戦では、近畿地区代表の「滋賀学園高校」と対戦、先制したものの追いつかれ、また引き離したがすぐに追いつかれるという展開ではありましたが、最後は僅差で逃げ切り勝利しました。準々決勝進出は実に14年振りのことでした。

迎えた準々決勝は強豪「中京大学附属中京高校」との対戦で、ミスから失点を許し、打線も振るわず僅差で敗れました。

このチームは主将の北口を中心にととても素直な選手が揃っているため、さらに磨きを掛けチーム力を上げて選手権大会の出場を勝ち取ってほしいと思っています。

甲子園出場の度に、多くの方々からのご寄付を受けて、甲子園という大舞台で試合をさせていただくことに感謝しかありません。今後も応援してくださる皆様のご期待に添えるよう、日々精進して参ります。

硬式野球部 部長 小坂 貫志



◎夏の青森県大会（甲子園予選）へ向け。
【仲井監督】初戦から1点差の試合が続くというプレッシャーが強い中、粘り強く戦い抜き、一人一役を全うした結果がベスト8という成果に結びつきました。
【北口主将】入学してから夏の選手権予選を制覇していないので、今夏は是非でも3年振りの頂点を目指し実現させることです。

1回戦		2回戦		準々決勝	
崇徳	八学光星	滋賀学園	八学光星	中京大中京	八学光星
310	000	011	101	100	100
000	300	101	102	010	010
020	120	01x	000	000	000
0	9			000	000
6	15		5	1	2

選抜大会「1回戦」を振り返って
初回から私が3点奪われ、2回にも追加点を取られビハインドの中、全員が繋ぐ野球で追いつき粘り強く守り切りました。同点のまま迎えたタイブレークではさらに打線が繋がり大量得点を叩き出し、15対6で勝利しました。
北口 晃大(投手)

選抜大会「2回戦」を振り返って
2回戦の滋賀学園戦は接戦の試合となりました。同郷でもあり、同じ学年の岩崎が公式戦初登板でしっかりと試合を作ってくれました。張り詰めた緊張感の中で、チーム一丸となって勝利することができました。
菅沼 晴斗(1塁手)

選抜大会「準々決勝」を振り返って
準々決勝では、前試合に引き続き先発を任せましたが、私自身の力不足を感じた試合でした。自分の思うようなピッチングができずにマウンドを降りました。夏の甲子園では流れを引き寄せるピッチングができるよう、これまでに以上に頑張ります。
岩崎 賢成(投手)

応援隊の裏側を紹介

普段は見えない、応援隊の裏側をお見せいたします



応援隊の出発式の様子



現地の吹奏楽部の様子



残留部隊もメガホンを持って応援している様子



写真提供: デーリー東北新聞社 (左・中3/28、右3/20)



八戸学院野辺地西高等学校での
最後の入学式 [4/8 (水)]
来年度は八戸学院ひばり野西高校で!!

令和8年度入学式が挙行され、60名の生徒が入学しました。令和9年4月より校舎を五戸町に移転し、校名も「八戸学院ひばり野西高等学校」に変更となり、「八戸学院野辺地西高等学校」としては最後の新入生です。新入生代表として一戸柊斗さんが「良き生徒として夢と希望に向かって努力することを誓う」と宣誓しました。橋場保人校長先生からは、「この特別な1年を大切にいただき、歴史と伝統のかけ橋となるように」と言葉があり、法官新一理事長先生からは、「野辺地西高校から、ひばり野西高校へ歴史を積み重ねる役割を担い、地域の期待に応えられるよう、一緒にこのミッションを果たしていこう」と挨拶がありました。



八戸学院野辺地西高等学校
令和8年度 入学式



八戸学院大学、八戸学院短期大学
4/6 (月)

杉山学長の温かいエールを胸に第1歩



八戸学院光星高等学校 通信制課程
4/7 (火)

高校通信制が開校して第7回入学式



八戸学院聖アンナ幼稚園
4/11 (土)

初めてのようちえんにワクワク!

入学・入園
Welcome!!



八戸学院光星高等学校
4/7 (火)

新入生代表宣誓



八戸学院幼稚園
4/5 (日)

越戸園長から入園お祝いのご挨拶



大学入学式

2026 八戸学院の春



八戸学院大学、八戸学院短期大学
3/18 (水)

この先の未来も自分の手で。
感謝をこめて卒業します



八戸学院幼稚園
3/15 (日)

杉山園長から卒園お祝いのご挨拶

卒業・卒園

Congratulations!!



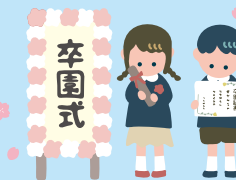
八戸学院光星高等学校
3/1 (日)

涙する卒業生たち



八戸学院第二(のめ)幼稚園
3/14 (土)

お父さん、お母さん ありがとう♡



八戸学院野辺地西高等学校
3/3 (火)

答辞(卒業生代表 新山蒼志郎さん)



八戸学院聖アンナ幼稚園
3/14 (土)

卒園証書を手には「ハイ、チーズ!」

4月5日(日)の入園式で、八戸学院光星高等学校吹奏楽部によるサプライズミニコンサートを開催しました。今回は、数々の大会で優秀な成績を収めているメンバーが中心になり、人気グループの大ヒット曲や子どもたちが大好きな有名アニメの主題歌などを演奏して頂きました。

初めて生の演奏を聴く子もいたようで、最初は緊張した姿も見受けられましたが、次第に手拍子をしたり立ち上がったりと、保護者の皆さんと一緒に演奏を楽しんでいる様子が印象的で、思い出に残るひと時になったようです。

同じキャンパスにある幼稚園として、これからも行事などを通じて高校生との触れ合いの機会をつくるとともに、高校との連携をより一層深めていければと考えています。



八戸学院幼稚園入園式



けつてくれました。系列の八戸学院幼稚園は、光星高校の校舎と隣接していることから、本校の中庭に園児が遊びに来て、吹奏楽部の中庭コンサートを鑑賞したり、高校生と触れ合うなど、日常生活の中で、園児と高校生の声飛び交う交流が行われています。

八戸学院光星高等学校入学式

4月7日(火)に八戸学院光星高等学校の入学式が挙行され、今年度は314名の新入生が希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。そのお祝いに、八戸学院幼稚園の園児6名が駆けつけました。



令和8年度八戸学院大学・八戸学院短期大学部の入学式が、4月6日(月)八戸学院総合体育館において挙行され、大学252名、短期大学部83名の新入生が学生としての第一歩を踏み出しました。

式典では、新入生を代表して短期大学部こども教育学科の中村向日葵さんが「これから美保野キャンパスで過ごすことになりましたが、大学生・短大生としての自覚を持ち、自分の夢に向かってまい進していく覚悟です」と力強く宣誓しました。式典には八戸学院系列三園の園児6名がお祝いに駆けつけました。

こども教育学科の学生にエスコートされて登場した園児たちは、「勉強やたくさん活動をして一生懸命頑張ってください。お姉さんたちと一緒にたくさん遊ぶのをたのしみにしています」と、緊張しながらも笑顔で歓迎のことばを述べていました。

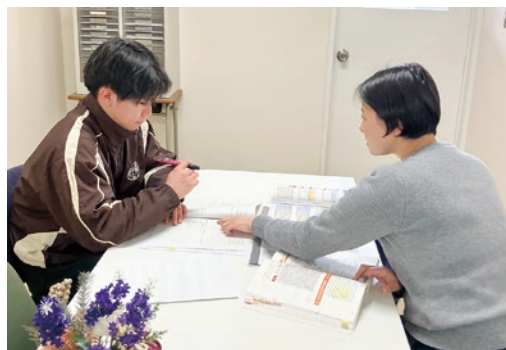
法人内連携

八戸学院大学・八戸学院短期大学部入学式

短大 介護福祉学科10人全員合格

今春卒業した介護福祉学科の学生10名全員が、1月に行われた介護福祉士国家試験に全員合格しました。学科では、1年次から定期試験問題に国家試験を見据えた内容を取り入れ、2年次からは毎月模擬試験を実施。この他、対策講座や教員による個別指導を行うなど国家試験に向けて準備を進めてきました。合格率100％達成は平成14年度以来2回目になります。

10名の合格者には留学生2名も含まれており、シャナヤ・オマラさんは「合格できて安心した。利用者の気持ちに寄り添える介護福祉士になりたい」と笑顔で語りました。



令和7年度の介護福祉士国家試験において、本学科は留学生を含め合格率100％を達成しました。全国平均70.1％という状況の中、学修成果の可視化、分析に基づく個別指導を積み重ねた成果であると捉えています。この結果を大きな自信とし、今後も多様な学生に対応した支援を充実させ、全員合格の継続と教育の質の向上に努めてまいります。

介護福祉学科 学科長 小川 あゆみ

短大 幼稚園 星の子シアター [2/14]

SG GROUPホールはちのへ（八戸市公会堂）において、系列3幼稚園の園児と幼児保育学科の学生による合同発表会「星の子シアター」を上演しました。

第1部では、音楽劇『ノアの方舟』を披露。八戸学院幼稚園、八戸学院聖アンナ幼稚園、八戸学院第二しのめ幼稚園の園児と学生が共演し、天地創造から虹の約束までを表情豊かに表現しました。動物になりきった園児たちが方舟へ乗り込む愛らしい姿や、ホールに響き渡った合唱「虹のむこうに」「With Christ」の歌声に、会場からは惜しみない拍手が送られました。



第2部では、幼児保育学科2年生がミニオペレッタ2作品を上演しました。学生たちはこの日に向けて、仲間と対話を重ね、衣装や小道具の準備、演出の工夫に励んできました。舞台で見せた豊かな表現力と団結力は、春から保育者として歩み出す学生たちにとって、大きな自信になりました。

短大 ペットボトルキャップの寄贈をいただきました [4/9]

この度、八戸ライオンズクラブ様より、ペットボトルキャップの寄贈をいただきました。贈呈式では、菅原孝明会長より、会員の皆様が丹精込めて集められたキャップ42kgを介護福祉学科・鈴木ゼミの学生が直接受け取りました。

鈴木ゼミでは、4年前から開発途上国の子どもたちにワクチンを届けるため、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」への寄付活動を継続しています。今回いただいたキャップも、支援活動の一環として大切に活用させていただきます。



大学 強化指定部壮行会～活躍を誓って～ [4/10]

大学会館にて令和8年度「強化指定部壮行会」が開催されました。当日は各部の指導者や学生ら約400名が出席し、新年度の活躍に向けた決意を新たにしました。

今年度は、強化指定部12団体と学長戦略指定部2団体の計14団体が認定され、小林学長から各部へ認定書が授与されました。これを受け、強化指定部を代表して自転車競技部の嵯峨希来さんが「強化指定部としての誇りを持ち、競技はもちろん、勉学や地域貢献活動にも精一杯打ち込みたい」と力強く誓いの言葉を述べました。

昨年度は多くの部が全国舞台で輝かしい成績を残しました。今年度も、さらなる高みを目指して挑戦を続ける学生アスリートたちへ、温かい応援をよろしくお願いいたします。



強化指定部(12団体)

硬式野球部、男女サッカー部、男女バスケットボール部、男女ラグビー部、スケート部(アイスホッケー部門・スピードスケート部門・フィギュアスケート部門)、陸上競技部、自転車競技部、ゴルフ部、弓道部

学長戦略指定部(2団体)

柔道部、スポーツクライミング部

大学 宣誓式～2年生59名が誓う「理想の看護師像」～ [5/9]

健康医療学部看護学科の第10回宣誓式が開催されました。来賓、保護者、1年生、そして教職員に見守られるなか、2年生59名はナイチンゲール像から看護の灯(ともしび)を受け継ぎ、自らが目指す看護師像を厳かに宣誓しました。

式典において小林学長は、「本学での4年間で高度な看護技術を身に付けた医療従事者を目指すとともに、医療全体の進歩に貢献できる探求心と研究心を体得してほしい」とお祝いの言葉を贈りました。

宣誓者を代表して登壇した看護学科2年の四作美結さんは、「一人ひとりの声に耳を傾け、尊厳と権利を尊重できる看護師を目指したい」と力強く決意を述べました。



大学 短大 ダバオ大学と覚書(MOU)を締結～国際交流の促進とグローバルな人材育成を目指して～ [4/10]

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部は、フィリピンのアテネオ・デ・ダバオ大学と、相互の友好親善および国際学術協力の促進を目的とした覚書(MOU)を締結しました。

今回の覚書には、「学生や教職員の人的交流と教育プログラムの実施」「研究・学術活動における相互協力」、そして「包括的な大学間連携」の推進が盛り込まれ、今年度より長期休暇を活用した学生向けの海外語学研修がスタートする予定です。調印式はオンライン形式で執り行われ、アテネオ・デ・ダバオ大学学長のカレル・S・サン・ファン神父は、「この覚書の締結は単に大学同士の結びつきに留まるものではなく、国と国とを結ぶ大きな意義を持つものである」と両国の架け橋としての役割を強調しました。これを受け、大学・短期大学部を代表して小林学長が「この度の締結を機に、学生たちがより広い世界に目を向け、海外への興味を持つ重要なきっかけとなることを期待したい」と述べました。



野西高 お笑い芸人「ヤーレンズ」来校 [4/10]

本校サッカー部の応援大使を務めていただいているお笑い芸人・ヤーレンズのお二人が来校され、トレーニングルームやグラウンドなどで部活動の様子取材していただきました。まだ雪が多く残る厳しい環境から全国の舞台を目指し練習に取り組む部員の逞しい様子を見て、笑いを交えながら感動と称賛の言葉をいただきました。お笑い界最高峰のM-1グランプリで頂点を目指すヤーレンズさんに応援していただきながら、2年連続での全国大会出場を目指しサッカー部は今日も活動しています。



野西高 生徒総会 [4/27]

生徒会執行部が中心となり、令和8年度生徒総会が開催されました。生徒会長の川村翔さんより今年度の生徒会目標として、「明るく、元気よく、爽やかに、チャレンジ精神」が掲げられ、今年度も学校の活性化を目指して、朝の挨拶運動を継続することや、学校移転前最後の1年となる今年度の学校行事を大いに盛り上げ、良い思い出を全生徒の心に刻むことができるように一丸となって取り組むという活動方針が示されました。その後、令和7年度の収支決算報告・監査報告が行われ、次いで、令和8年度予算案の提示・承認がなされました。専門委員会の各委員長からも活動計画や目標が発表され、生徒が一丸となって学校運営の一部に携わるという自覚が見られる生徒総会となりました。



野西高 野辺地町在学青年ボランティア [5/23]

野辺地町教育委員会と野辺地町在学青年ボランティア会主催の、町内の清掃ボランティアが実施され、本校からは生徒と教員が参加しました。当日は野辺地町役場を出発して、商店街から野辺地駅までの道沿いのごみ拾いを行いました。参加した生徒からは、「いつもお世話になっている町に貢献することができました。また、他校の生徒とも一緒に活動することで、互いに交流できる良い機会だった」、「野辺地西高校としてのボランティア活動は今年度で最後となるが、最後まで積極的に参加して、町に貢献したい」といった感想が聞かれました。



光星高 通信制課程スクーリング(対面指導)が開始 [4/14]

4月に開校した通信制課程で、最初のスクーリング(対面指導)が行われました。YSアリーナで行われた体育では、緊張をほぐし体を動かすことを目標に、ボールを使った体づくり運動を行いました。翌日の廿三日町キャンパスでのスクーリングは、多少の緊張感を抱えながらも有意義に終えることができました。週1回のスクーリングは、先生から直接指導してもらえる貴重な機会です。出席した生徒は、真剣な態度でスクーリングに参加していました。



今後は学校行事や総合的な探究の時間も使いながら、生徒のみなさんに楽しいと思ってもらえる機会を積極的に設けていきたいと思っています。

光星高 災害に備える避難訓練 [5/1]

地震により生徒会館から火災が発生した想定で避難訓練が実施されました。

昨年の12月8日には青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5最大震度6強、4月20日には三陸沖を震源とするマグニチュード7.7最大震度5強の地震が発生し、津波警報が発令されていることから、生徒と教職員は訓練実施要項に基づき、迅速で安全な避難を実践形式で確認しました。



当日は雨の降る中での訓練となりましたが、教員の的確な避難誘導や人員確認、生徒自身による自分の命は自分で守る行動など、災害時に慌てないよう、命を守るための正しい行動習慣を身につけることができました。

光星高 みちのく潮風トレイルに挑戦 [5/12・5/15]

スポーツ科学コースの野外実習として『トレッキング』が開催されました。

会場となったみちのく潮風トレイル(種差海岸区間)は、世界でも珍しい海岸沿いのトレイルで、起点の葦毛崎展望台から種差海岸までの約7kmは、起伏の少ないゆるやかな道が続く歩きやすいコースが特徴です。

季節の草花が咲き乱れる美しい岩礁地帯や貴重な「鳴き砂」の浜、波打ち際まで広がる天然芝生地など、変化に富んだ絶景を味わいながらじっくり歩いた生徒たちは、多彩な地元の歴史や文化を肌で感じることができ、自然との共生や仲間との協働を通じて、郷土愛と団結力を育みました。



八戸学院聖アンナ幼稚園

春を感じに行こう！～春の季節祭～



17日(金)に『春の季節祭』で三八城公園までお花見に出かけました。うららかな春の日、満開に咲いた桜と遠くに

本園では、季節ごとに『季節祭』と称する行事を開催しています。子どもたちにいろいろな感覚を通してその季節を感じ取って欲しいというねらいを持っています。4月

ちらに咲く桜の花にも心を動かされながら、子どもたちは元気に散策をしました。木の洞や小さな虫たちを発見しては注意深く観察したり、触ったり匂いを嗅いだり…。五感全部を使って春を満喫しました。

お昼には近くの南部会館まで足を延ばし、八戸の歴史ある建物で手作りの美味しいお弁当をいただきました。広い畳の部屋や素敵な庭園などから、普段の生活ではなかなか味わうことのない厳かさを



感じ取っているようでした。

ステラ・フォークス



八戸学院幼稚園は、開園以来「あたたかくやさしい幼稚園」を教育理念とし、この春、第20回目となる入園式が行われ、在籍人数136名(5月1日現在)でのスタートとなりました。新しい園長として迎えた4月、この一ヶ月を振り返って、印象的だった場面に本園の魅力だなと感じたことをいくつか紹介したいと思います。

まず、「アンソニー先生の英語教室」です。初めての英語教室にガチガチに緊張していた年長児たち。ゲーム、絵本などを通して、英語を楽しいものとして認識するのに時間はかかりませんでした。子どもたちがノリノリに変容していくのはまるで魔法にかかったようでした。法人内連携による、質の高い幼児教育が行われていることを実感したひとこまでした。

また、日々の活動の中でも、年齢やクラスの違いが目にいたり、交流が生まれたりするような機会をつくっています。異年齢間の交流は、子どもたちの発達にとっても重要です。年上の子どもは、年下の子どもと関わることで他者への思いやりの気持ちや態度を身に付けることができ、年下の子どもは年上の子どもの姿にあこがれの気持ちを抱き、それが活動の意欲につながります。

をかけるきっかけとなり、自然なやりとりが発生します。日常的な対話を積み重ねること、保育者の意図、学びのプロセスを伝え、このことが連携の強化につながっていることを強く感じます。

今年度も、本園の特色ある教育を充実させ、本園ならではの強みを生かして、一層魅力ある幼稚園づくりを目指していきたいと思っています。



楽しいね！英語教室



お花見給食での交流



いのちを守る練習

八戸学院第二しののめ幼稚園

親子で楽しむおやつ作り

本園では食育の一環として、畑仕事、収穫体験、お料理会や絵本等を通して「楽しく食べる体験」を深めながら、食への関心を持つことをねらいとした取り組みを行っています。今年度最初の参観日は楽しく、おいしい時間を過ごして



たこうと「親子で楽しむおやつ作り」を計画し、園長先生のご指導のもと「おやつパン」と「カップフルーツ」を作りま

した。ホットケーキミックスを使ったおやつパンでは、卵を割る、生地を混ぜる、カップに注ぐ、トッピングの作業があり、親子で楽しみながら作り進める様子が見られました。焼き上がりを待つ間は、フルーツを切る作業です。包丁を使うということで子どもたちは一気に真剣な表情になりました。出来上がったパンはみんなでおいしくいただき、子どもたちからも「おうちでも作ってみよう!」ととても好評でした。



子どもたちからも「おうちでも作ってみよう!」ととても好評でした。

八戸学院幼稚園

トマトの苗植えに初挑戦



株式会社SHIKATAさんとピアドゥさんの共同企画にお誘いいただき、5月1日(金)に年長児がトマトの苗植えを体験しました。今回が初の試みということもありバスに乗って階上町へ。「先生まだー?」と到着を待ちわびる子どもたちも、広大な敷地や巨大なビニールハウスが見えると大興奮でした。ドキドキ感やワクワク感のなか準備をしてハウスに入り、説明を聞いたあと決められたスペースにひとつひ

とつ心を込めて苗を植えました。マスコットキャラクター「くぴあ」くんとのお会いもあり、子どもたちにとってはとても思い出深い園外保育になりました。今回の活動を通して苗の扱い方を知り、トマトへの興味や関心がより一層高まった一日でした。

9月には収穫体験を予定しており、植えた苗のことを話題にしながらトマトを何か調理に活かすことができないか検討しています。どんな大きさや姿になるのか、トマトの生育がいまから楽しみです。



八戸学院ひばり野西高等学校 開校に向けて

八戸学院ひばり野西高等学校開設準備室
室長 山口 吉彦

八戸学院野辺地西高等学校の令和9年4月移転・普通科設置に向け、令和7年度に本法人内に「野辺地西高校 旧五戸高校移転・開設準備室」が設置され、令和7年9月29日には法官新二理事長と若宮佳「五戸町長から新校名「八戸学院ひばり野西高等学校」が発表されました。今年度は開設に向けた動きをさらに加速させ、「八戸学院ひばり野西高等学校開設準備室」として皆様のご支援とご協力を得ながら開校に向けた準備に邁進しているところです。

今回はひばり野西高校の開校にかける想いや夢と施設等の準備状況等についてお知らせいたします。

1 野辺地西高校からひばり野西高校へ
八戸学院野辺地西高等学校は1973年、当時のむつ・小河原開発計画や上北・下北地域に貢献する人材育成という重要な使命を担い、光星学院野辺地工業高等学校として創立されました。以来、時代のニーズに応じて普通科や保育科、情報科、自動車科などを増設し、1997年総合学科への転換に伴い、光星学院野辺地西高等学校と校名を変更しました。さらに総合学科の系列再編を経て八戸学院野辺地西高等学校に校名を変更し、半世紀以上にわたり、地域社会を支える有為な人材を輩出し、地域と文化の発展に貢献してきました。しかし、校舎の老朽化や耐震上の課題、生徒数の減少といった問題もあり、五戸町からの積極的な誘致を受けることとなりました。これを機に、50年以上にわたり築き上げてきた野辺地西高校の伝統を土台とし、教育環境のさらなる充実を目指して、校名を八戸学院ひばり野西高等学校に変更し、五戸町に移転することになりました。

2 ひばり野西高校グランドデザイン
開校にあたり、準備室ではひばり野西高校が育む志や夢をグランドデザインとして描きました。

(1) 法人建学の精神
「神を敬し、人を愛する」

(2) 校訓
「正義」 常に正しく生き、公德を守り、純粋な心の持ち主であれ。
「賢明」 いつも明るく、やさしい心を持つて、明敏な判断力の持ち主であれ。
「剛毅」 たくましい心身で、気性が強く、強固な意志の持ち主であれ。

(3) スクールミッション
○教育活動全体を通して、たくましく未来を切り拓こうとする力や協働する心を育てる学校
○スポーツや地域貢献活動を通して、利他の心と公德心を養い、自己有用感を育む学校



ひばり野西高校管理棟

○高い志を育み、郷土を愛し、社会の期待に応える実践力を育む学校
(4) グラデュエーションポリシー
○心身ともに健康で、知(学力)・徳(豊かな人間性)・体(健やかな身体)の調和のとれた「生きる力」を備えた生徒を育てる。

○「高い志」と「主体性」を持つて社会の発展に貢献し、郷土の未来を担う生徒を育てる。

○国際化・情報化に対応するコミュニケーション能力・情報活用能力・語学力を備えた生徒を育てる。

(5) カリキュラムポリシー
「五戸の地で更なる「新たな」学びを」
「ひばり野西の独自性を活かす」
三つの柱

○「スポーツ」を軸とした教育
○地域との協働を重視した教育
○法人内上級学校と連携した教育

(高大連携)
これらを実現する教育課程(カリキュラム)として普通科の教育課程を通して、一人ひとりの学習スタイルに応じた体系的な教育や個別最適な学びと協働的な学びを実現するとともに、学習の安定化・共通化を図ることによって地域のニーズやグローバル化する社会の期待に応える人材を育成します。

そのために普通科内に地域と世界の視点、そして心身の鍛錬と人間力向上を軸とした2つの探究コースを設定します。

① スポーツ探究コース
・地域との連携の中で、部活動と連動させ、アスリートとしての資質向上とスポーツを通じた人間形成を促すとともに、社会貢献できる人材の育成をめざします。

・「保健体育」や学校設定教科「体育」の

学びと部活動を連動させつつ、スポーツの持つ魅力などを学び、各自の競技力向上をめざします。

② グローカル探究コース
「地域(Loca)」を深く知り、「世界(Global)」の視点で物事を考える力を身につけ、郷土愛を育みながら地域や社会に貢献する人材の育成をめざします。

・学校設定教科「グローバル探究」や「教養」の中で、「国際探究」と「五戸探究」「プレゼンテーション」などの科目を設定します。これらの学習では五戸町をはじめ、地域の方々や企業・NPOとの積極的な連携と協働の中でカリキュラムを展開します。

・八戸学院大学と連携してアントレプレナーシップも学びます。

(6) アドミッションポリシー
○本学を志望する動機が明確であり、自分の夢の実現に向けて邁進できる生徒
○己を律し、協調性をもって集団生活を送ることができる生徒



ひばり野西高校新寮完成予想図

3 ひばり野西高校の部活動
ひばり野西高校の部活動の柱はサッカー部です。野辺地西高校で築き上げた伝統と想いを胸に、ひばり野西高校という新たなステージで全国をめざしてほしいと思います。

また創部予定として相撲部やダンス部(ヒップホップやエアロビクス等)、テニス部・バドミントン部などを想定しています。相撲部については、近年相撲人口は決して多くはないようですが、それでも県南地域や岩手県北地域では「わんぱく相撲」が比較的盛んであり、地域や関係者の要望もあり、専門の指導者を迎えて創部する予定です。ダンス部は近年競技人口が増えています。ダンス部は地域のダンススタジオ等が中心です。ひばり野西高校では希望

者を募って高校の部活動と連動させたいと考えています。初心者から上級者まで幅広く活動できるよう、地域のダンスインストラクターを専任コーチとしてお迎えする予定です。

ひばり野西高校では既存の部活動以外にも仲間とともに新しい部活動を立ち上げることを奨励し、応援していこうと考えています。本校がめざす「自ら考え、行動し、創り上げていく」という「探究精神」を部活動にも反映させたいと考えています。また地域との協働・貢献とも連動させたボランティア部やアニメ・イラスト部などの文科系部活動も積極的に奨励します。さらに「未来応援部」と称する部活動も創る予

4 ひばり野西高校
新校舎への改修と設備の新設
五戸町から校舎を無償譲渡していただき、設備等の改修をスタートしています。

具体的には各教室にエアコンを完備し、全トイレの洋式化等を実施します。またICT環境の整備やバリアフリー、インクルーシブ教育に対応する整備も積極的に取り組みます。

ひばり野西高校に新しい寮を建設します。一人一部屋で、大浴場やランドリールーム、既に改修済みの生徒会館の大食堂も加え、部活動を含む学習活動に取り組み環境を整備します。

前述した相撲部の創部にあたり、学校の部活動の活動拠点として利用させていただけることとなり大変感謝しております。また町として地域のスポーツ振興に役立つ施設にしたいというお考えがあり、ひばり野西高校としても積極的に協働していきます。

五戸川の流れを望む、緑に囲まれた根岸の地に、五戸町の皆さんのご支援をいただきながら、「教育の町 五戸」にふさわしい希望のキャンパスを造り上げていきたいと思



五戸町多目的グラウンド完成予想図



八戸学院グッズに新たな商品が仲間入りしました

プライベートはもちろん、仕事にも使えるユーティリティバッグとクールビス期間や部活動の応援など多くの場面で着用が期待される新デザインのはちがくポロシャツです。

ユーティリティバッグコンビ(L)

マチ付のポリエステルバッグで、厚みのある書類も安心収容可能！トートバッグでも活躍が期待できる普段使いに適したバッグです。

本体／約 300×360×140 (mm) ・刺繍



ポロシャツ

胸元にゴールドで縁取られたインフィニティマークをあしらったロゴをプリントしました。ロゴは程よい大きさとシンプルですがとても印象的です。

※ポロシャツの素材、価格、サイズ、カラーは従来のデザインと全く同じです。

- ◆素材 材／吸汗速乾でサラッとして通気性が良いドライポロシャツ
- ◆販売価格／¥1,800 (税込み)
- ◆サイズ展開／SS ～ 5L (男女兼用)
- ◆カラー展開／ホワイト・ブラック
ネイビー・エンジ

